

島根大学 障がい学生支援室 FD/SD 研修



第1回 しまねインクルーシブ・ミーティング

- 特別なニーズのある子ども・学生への教育をつなぎ、支援者の学びを結ぶ -

第1回テーマ:多様性を生かす教育を考えるー学びを支える考え方と場づくり

導入講話 多様性はなぜ大切か — 生物学的視点から考える学びと共生

講師：島根大学 障がい学生支援室 室長 松崎 貴先生

教育講話 インクルーシブ教育とは何か — 共に学ぶことの意味を考える

講師：島根大学 教育学研究科 特任教授 原 広治先生

実践講話 多様性を尊重する学校づくり — 共生に向けた浜田高校の取組

講師：島根県立浜田高等学校 岡野 慎二先生

日時:2026年3月18日(水) 13:00~16:30(受付開始 12:30)

会場:島根大学 大学会館3階 大集会室(松江市西川津町1060)

定員:80名 参加費:無料(募集期限:2025年3月17日)

対象:教育・福祉・行政 等

(中・高・大学等で特別なニーズのある子ども・学生に関わる教職員・支援者)

※募集期間中でも、定員に達した場合は申し込みを終了します。

※参加証は発行しませんので、お申し込み後、当日は直接会場にお越しください。

※駐車場に限りがございますので、可能な限り公共交通機関をご利用いただけますようお願いいたします。



参加応募用 QR コード

SIM

Shimane Inclusive
Meeting

つなぐ、結ぶ、
学びの場

主催:島根大学 障がい学生支援室

お問合せ先:電話 0852-32-9770・9771

e-mail ssd-shien@office.shimane-u.ac.jp

プログラム

時間	内容	登壇者
12:30-13:00	受付	
13:00-13:10	開会あいさつ・趣旨説明	
13:10-13:40	導入講話 多様性はなぜ大切か—生物学的視点から考える学びと共生	島根大学 松崎先生
13:40-14:30	教育講話 インクルーシブ教育とは何か—共に学ぶことの意味を考える	島根大学 原先生
14:30-14:40	休憩	
14:40-15:30	実践講話 多様性を尊重する学校づくり—共生に向けた浜田高校の取組	島根県立浜田高等学校 岡野先生
15:30-16:00	フロアディスカッション	
16:00-16:15	全体共有・まとめ	
16:15-16:20	閉会あいさつ	

近年、インクルーシブ教育システムの推進により、通常学級や地域の学校にも多様なニーズをもつ子どもが在籍するようになってきました。一人ひとりが尊重される学びの環境を築き、教育そのものをより良いものへと改善していくことは、地域全体で取り組むべき課題となっています。

一方で、学校現場では、支援者が孤立したり、学校段階が変わるたびに支援が途切れてしまったりするなど、教職員・支援者・保護者といった現場で奮闘する人々が共通して抱える課題も少なくありません。こうした課題に対応するためには、個々の学校や機関の取り組みにとどまらず、地域全体で緩やかなネットワークを築き、支援に関する情報や知見を共有し合う基盤づくりが求められます。

しまね・インクルーシブ・ミーティングは、小学校・中学校・高等学校・大学など学校段階を越えて、障がいのある子ども・学生をどのように支えているのか、どのような課題に直面しているのか、今後どのように支援を発展させていけるのかなどを、立場や専門分野を超えて対話する場として開催するものです。そして、この取り組みを、島根県全体で共有できる“地域の文化”として育てていくことを目指します。

第1回目のミーティングでは、「多様性」と「インクルーシブ教育」をキーワードに、異なる立場や現場の経験を持つ参加者が、それぞれの実践をどう深め、連携していけるかを考える場とします。生物学的視点から多様性の価値を学び、教育学的視点からインクルーシブ教育の理念を整理し、学校現場での実践を共有することで、明日からの支援や教育に生かせるヒントを得ることを目的とします。